

事後評価に係る資料

【道路事業】

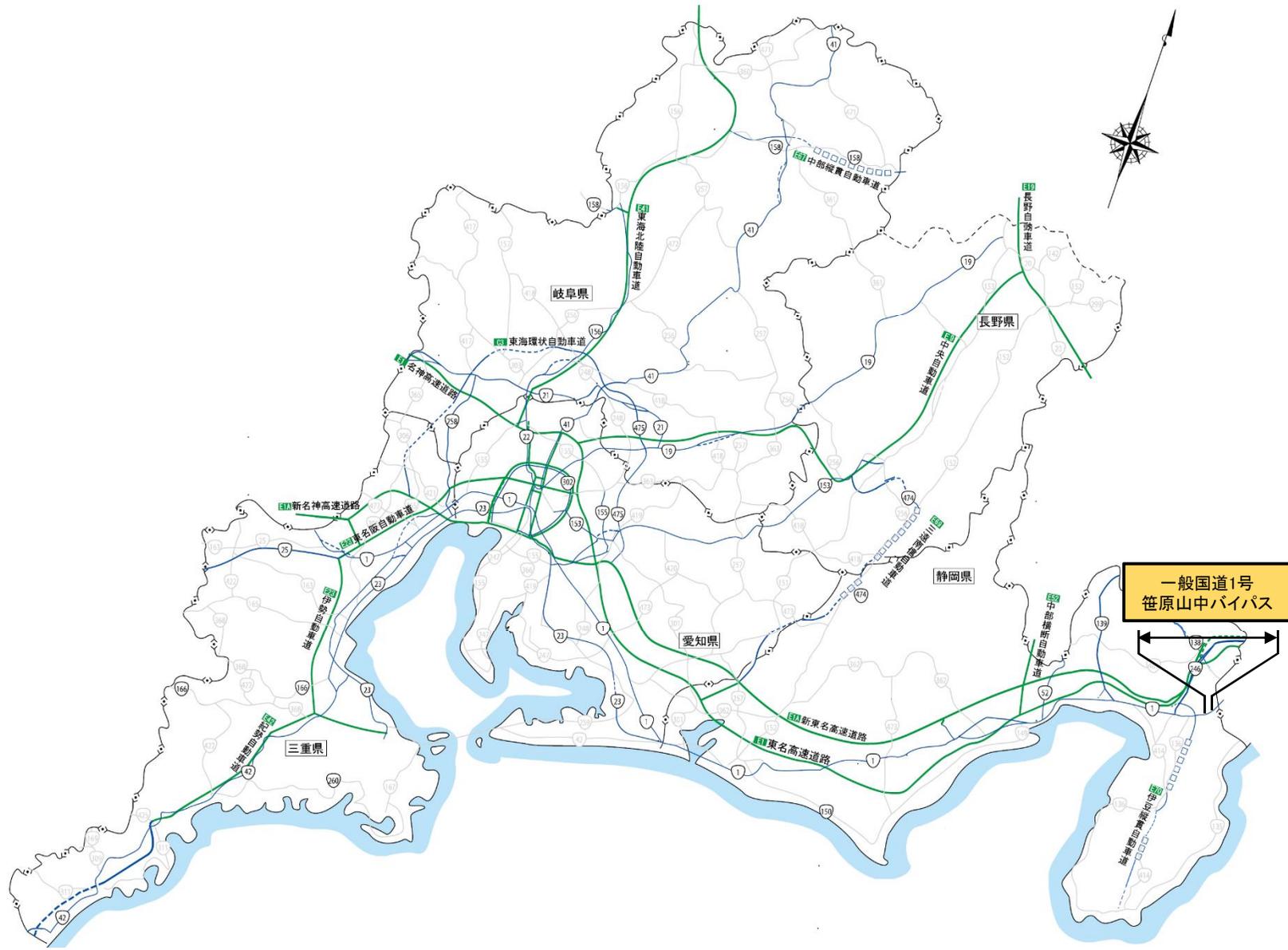
令和6年11月8日

国土交通省中部地方整備局

## 目 次

1. 事後評価対象事業位置図	1
2. 事後評価を実施する事業の一覧表（道路事業）	2
3. 事業対象事業事後評価結果原案、B／Cバックデータ	
○一般国道1号 笹原山中バイパス	3

# 事後評価対象箇所(第3回委員会審議対象)



事後評価を実施する事業の一覧表(道路事業)

整理番号	事業種別 ※1	該当項目 ※2	都道府県名	路線番号	箇所名	事業の目的	事業延長 (km)	事業化 年度	都市計画 決定又は 変更年度	用地 着手 年度	工事 着手 年度	供用済 み延長 (km)	全体 事業費 (億円)	事業 進捗率 (%)	事業を巡る社会情勢等の変化	今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性	B/C	対応方針 (原案)	備考
1	2次	①	静岡	1	一般国道1号 笹原山中バイパス	一般国道1号笹原山中バイパスは、国道1号現道の幅員狭少、線形不良、急勾配区間をバイパスし、交通安全の確保を図るとともに、沿道環境を改善することを目的に実施した延長4.3kmの事業で、豊かな自然による風光明媚な景観や温泉などの観光資源に恵まれた伊豆・箱根地域の活性化に寄与している。	4.3	S63	-	H3	H5	4.3	201	100	・国道1号笹原山中バイパスや新東名高速道路(御殿場JCT～浜松いなさJCT)の開通(平成24年4月14日)など、幹線ネットワークの拡充が図られている。 ・国道1号笹原山中バイパスの開通により、旧国道1号を走行していた車両の9割以上が国道1号笹原山中バイパスへ転換した。	・一般国道1号 笹原山中バイパスは事業が完了しており、整備目的通りの効果が発現していることから、今後の事後評価の必要はないと考える。	1.1	対応なし	

※1. (事業種別) 高規格:高 地域高規格:地高 一般1次改築:1次 一般2次改築:2次  
 ※2. (事後評価該当項目) ①事業完了後一定期間(5年以内)が経過した事業  
 ②審議結果を踏まえ、改めて必要があると判断した事業  
 ③その他

## 事後評価結果(令和6年度)(案)

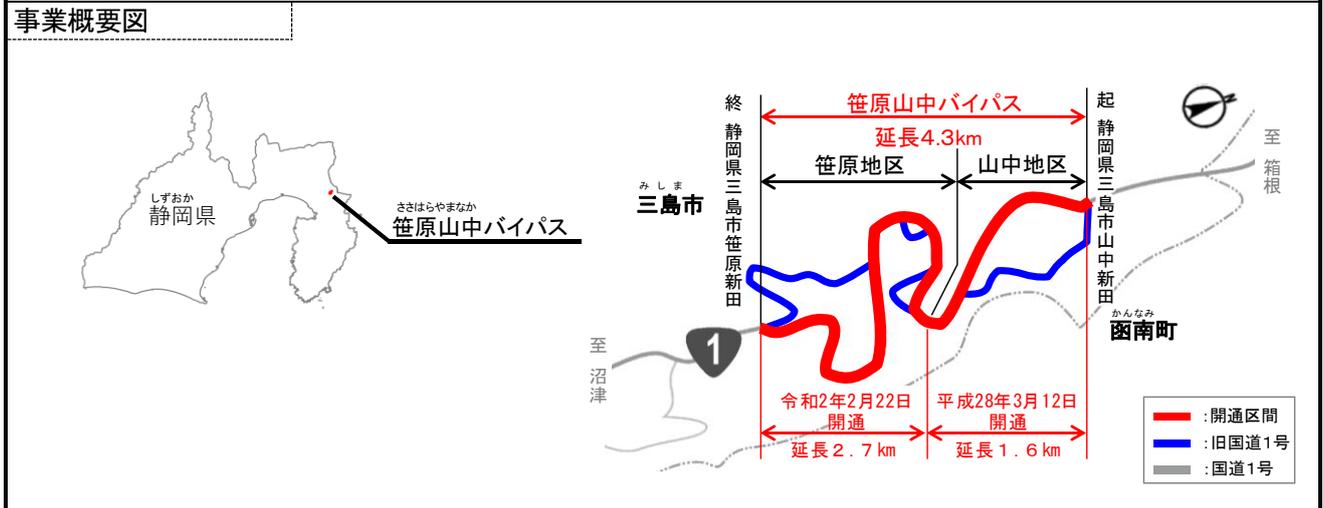
担当課: \_\_\_\_\_

担当課長名: \_\_\_\_\_

事業名	一般国道1号 <small>ささはらやまなか</small> 笹原山中バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自: 静岡県三島市山中新田 至: 静岡県三島市笹原新田	延長	4.3km		

**事業概要**  
一般国道1号笹原山中バイパスは、静岡県三島市山中新田から、同市笹原新田に至る延長4.3kmのバイパスである。

**事業の目的・必要性**  
一般国道1号笹原山中バイパスは、国道1号現道の幅員狭少、線形不良、急勾配区間をバイパスし、交通安全の確保を図るとともに、沿道環境を改善することを目的に実施した延長4.3kmの事業で、豊かな自然による風光明媚な景観や温泉などの観光資源に恵まれた伊豆・箱根地域の活性化に寄与している。



事業の 効果等	事業期間	事業化年度	S63年度	用地着手	H3年度	供用年	(当初)-/H25年度	変動	1.3倍
		都市計画決定	—	工事着手	H5年度	(暫定/完成)	(実績)-/R元年度		
	事業費	計画時	(名目値) -/134億円	実績	(名目値) -/201億円			変動	1.5倍
		(暫定/完成)	(実質値) -/133億円	(暫定/完成)	(実質値) -/203億円				
	交通量 (当該路線)	計画時	— /12,500台/日		実績	— / 9,814台/日		変動	78%
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	41.9km/h → 53.4km/h (供用直前年次) H27年度 (供用後年次) R3年度		交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)	82.9件/億台キロ → 47.8件/億台キロ (供用直前年次) H24~H27年度 (供用後年次) R2~R3年度				
	費用対効果 分析結果 (当初)	B/C	EIRR	総費用	144億円	総便益	305億円	基準年	平成15年
		2.1	— %	事業費: 128億円 維持管理費: 16億円 更新費: 0億円		走行時間短縮便益: 272億円 走行経費減少便益: 31億円 交通事故減少便益: 2億円			
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	EIRR	総費用	363億円	総便益	385億円	基準年	令和6年
		1.1	4.2%	事業費: 322億円 維持管理費: 41億円 更新費: 0億円		走行時間短縮便益: 338億円 走行経費減少便益: 41億円 交通事故減少便益: 5.4億円			
	事業遅延による コスト増	費用増加額		—億円		便益減少額		—億円	

	<b>事業遅延の理由</b> 特になし	
	<b>交通量変動の理由</b>	計画時では、将来(H32(R2))交通需要予測において、調査中路線も含んだ伊豆縦貫自動車道全線の供用を見込んでいるが、事後評価時(R6)では、未事業化区間や事業中区間、暫定供用区間があることから、交通量に変動が生じたものと考えられる。
	<b>客観的評価指標に対応する事後評価項目</b> ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等に当該路線の整備により、利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。 ②国土・地域ネットワークの構築 ・現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する。 ③個性ある地域の形成 ・主要観光地(伊豆地域、箱根地域)へのアクセス向上が期待される。 ④安全な生活環境の確保 ・現道の交通量減少による安全性向上が期待される。 ⑤災害への備え ・第一次緊急輸送路として位置づけられている。 ・緊急輸送路の代替路線を形成する。 ⑥地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑦生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。	
	<b>その他評価すべきと判断した項目</b> 特になし。	
事業による環境変化	<b>環境影響評価に対応する項目</b> 特になし。	
	<b>その他評価すべきと判断した項目</b> 特になし。	
	<b>事業評価監視委員会の意見</b> ・	

<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道1号笹原山中バイパスや新東名高速道路（御殿場JCT～浜松いなさJCT）の開通（平成24年4月14日）など、幹線ネットワークの拡充が図られている。</li> <li>・国道1号笹原山中バイパスの開通により、旧国道1号を走行していた車両の9割以上が国道1号笹原山中バイパスへ転換した。</li> </ul>	
<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般国道1号 笹原山中バイパスは事業が完了しており、整備目的通りの効果が発現していることから、今後の事後評価の必要はないと考える。</li> </ul>	
<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、同種事業の計画・調査の在り方や事業評価手法の見直し等の必要性はないと考える。</li> </ul>	
<p>特記事項</p> <p>特になし。</p>	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

(事後評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道1号 笹原山中バイパス
事業区分	一般国道 (二次改築)
事業主体	中部地方整備局

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間 (人・時間) 及び削減率 区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 4,753.1万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 17.7万人・時間/年 (4,753.1万人・時間/年⇒4,735.4万人・時間/年) 区間b (当該区間/並行区間) について : (市道 (旧一般国道1号現道)) 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間 : 2.3万人・時間/年 (市道 (旧一般国道1号現道)) 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間削減量 : 2.1万人・時間/年 (市道 (旧一般国道1号現道)) 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率 : 約9割削減 (市道 (旧一般国道1号現道))	
	<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満であった区間の旅行速度の改善状況	
	<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切道の除却もしくは交通改善の状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線の整備によるバス路線の利便性向上の状況	東海バス : 三島から元箱根港 (22便/日 (平日))
	<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上の状況	
	<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況	
	物流効率化の支援	
	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上の状況	
	<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況	
	<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間が解消	
	都市の再生	
	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトの支援に関する効果	
	<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路が形成 (又は一部形成) されたことによる効果	
	<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果	
	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行われたことによる効果	
	<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
	<input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
	<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発 (300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となった	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築		
	<input type="checkbox"/>	高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけあり	
	<input type="checkbox"/>	地域高規格道路の位置づけあり	
	<input type="checkbox"/>	当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する（A'路線としての位置づけがある場合）	
	<input type="checkbox"/>	当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
	<input type="checkbox"/>	現道等における交通不能区間を解消	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消	最小曲線半径60m未満の箇所12箇所 急勾配（5%以上）区間 約1.7km
	<input type="checkbox"/>	日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況	
	個性ある地域の形成		
	<input type="checkbox"/>	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されていた地区の一体的発展への寄与の状況	
<input type="checkbox"/>	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果		
<input checked="" type="checkbox"/>	主要な観光地へのアクセス向上による効果	観光交流客数：三島市：610万人(R4)、箱根町：1,740万人(R4) （三島市役所から三島スカイウォークで約5分短縮）所要時間：19分⇒14分	
<input type="checkbox"/>	新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果		
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成		
	<input type="checkbox"/>	自転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況	
	<input type="checkbox"/>	交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成		
	<input type="checkbox"/>	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
	<input type="checkbox"/>	市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保			
<input type="checkbox"/>	三次医療施設へのアクセス向上の状況		

3. 安全	安全な生活環境の確保	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等による安全性向上の状況	対象区間の現道自動車交通量（9,900台/日⇒400台/日）／バイパス自動車交通量（11,200台/日）（笹原地区）
	<input type="checkbox"/> 歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置されたことによる安全性向上の状況	
	災害への備え	
	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
	<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	笹原山中バイパスと並行する国道1号が第一次緊急輸送道路となっている 東海地震応急対策活動要領に基づく静岡県広域受援計画の防災拠点（山中城趾駐車場）を連絡するルートを構成
	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強えられる区間の代替路線を形成	国道246号（沼津～小山）；第一次緊急輸送道路
<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）		
<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消		
<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消		
4. 環境	地球環境の保全	
	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：5.4千t/年（約3,149.3千t/年→約3,143.9千t/年）
	生活環境の改善・保全	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 （推計結果） 評価対象区間（並行区間）：（市道（旧国道1号現道）） 排出削減量：6.6t/年（約6.9t/年⇒約0.3t/年）、排出削減率：約10割削減 バイパス等についてNOx排出増加量：5.8t/年
	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（現況） 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象外 （推計結果） 評価対象区間（並行区間）：（市道（旧国道1号現道）） 排出削減量：0.4t/年（約0.40t/年⇒約0.02t/年）、排出削減率：約10割削減 バイパス等についてSPM排出増加量：0.3t/年
<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過していた区間の騒音レベルの改善の状況		
<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果		
5. その他	他のプロジェクトとの関係	
	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業との一体的整備の必要性または一体的整備による効果	
	<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに関する効果	
	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果	

(事後評価)

様式-2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道1号	笹原山中バイパス	L=4.3km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
10,200	2	中部地方整備局

### ①費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和6年度			
単純合計	189億円	78億円	0億円	266億円
基準年における 現在価値 (C)	322億円	41億円	0億円	363億円

### ②便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和6年度			
供用年	令和2年度			
単年便益 (初年便益)	13億円	1.6億円	0.21億円	15億円
基準年における 現在価値 (B)	338億円	41億円	5.4億円	385億円

### ③結果

費用便益比 (B/C)	1.1
経済的純現在価値 (B-C)	22億円
経済的内部収益率 (EIRR)	4.2%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道1号 笹原山中バイパス

(推計時点 R22年)

			整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 新設区間：4.3km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	—	10,200
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	—	7.1
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	—	13.78
②主な周辺道路 <sup>※4</sup> 一般国道1号(現道) 【未拡幅区間】： 4.2km	交通量	[台/日]	9,700	400
	走行時間	[分]	8.2	4.8
	走行時間費用	[億円/年]	14.88	0.79
③その他道路合計 ：1,647.1km	走行時間費用	[億円/年]	6,584.20	6,571.31

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1655.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,599.08	6,585.88	13.20

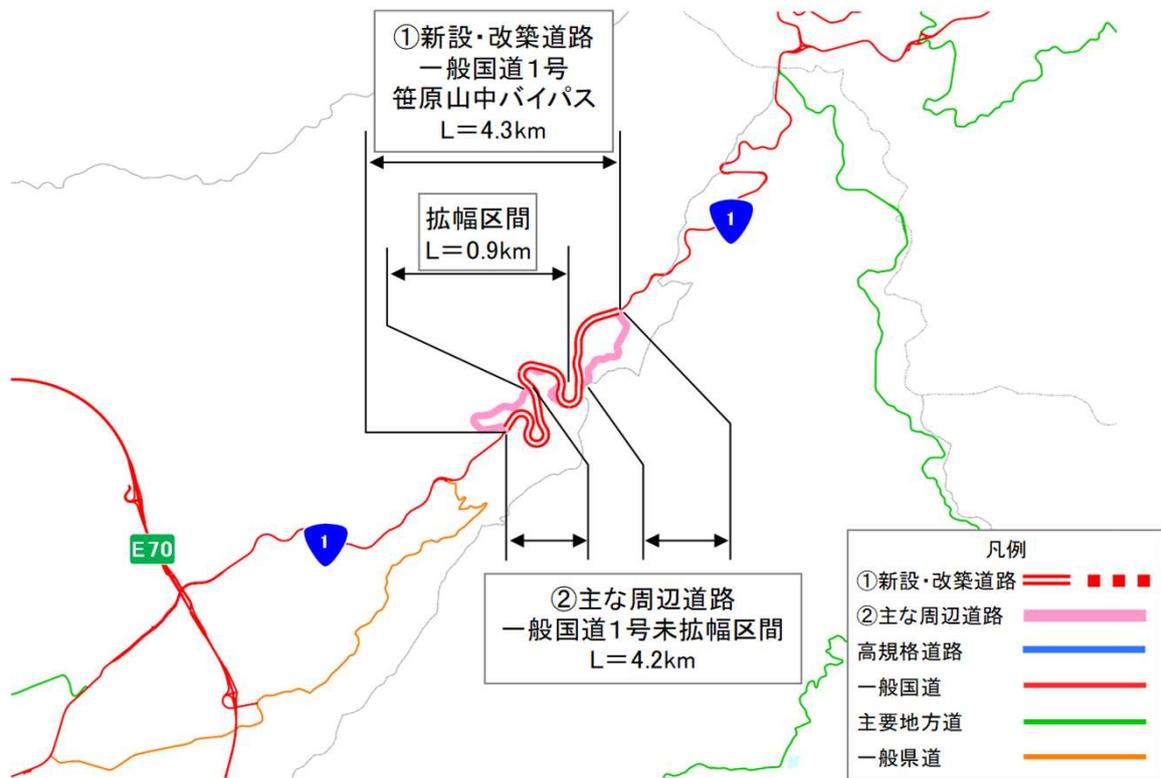
※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



## 費用便益分析の条件

事業名：一般国道1号 笹原山中バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和5年12月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和6年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R22)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ( )台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他( )		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他( )	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
	とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載		<input type="checkbox"/>	
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日	
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ( )	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：一般国道1号 笹原山中バイパス

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他( )	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	更新費	更新費の設定根拠を記載		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
維持管理費を考慮			<input type="checkbox"/>	
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道1号 笹原山中バイパス

年次	年度	社会的割引率	割引率	GDPデフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
					0.40		4.3		1.71	
-32年目	S 63	4%	4.1039	104.7	0.20	0.81				
-31年目	H 1	4%	3.9461	107.5	0.70	2.64				
-30年目	H 2	4%	3.7943	109.9	1.30	4.61				
-29年目	H 3	4%	3.6484	112.5	2.40	7.98				
-28年目	H 4	4%	3.5081	114.1	6.79	21.43				
-27年目	H 5	4%	3.3731	114.4	5.47	16.56				
-26年目	H 6	4%	3.2434	114.3	3.54	10.32				
-25年目	H 7	4%	3.1187	113.7	3.08	8.69				
-24年目	H 8	4%	2.9987	113.2	2.00	5.43				
-23年目	H 9	4%	2.8834	114.2	0.10	0.26				
-22年目	H 10	4%	2.7725	113.6	2.73	6.84				
-21年目	H 11	4%	2.6658	112.0	0.72	1.76				
-20年目	H 12	4%	2.5633	110.7	0.40	0.94				
-19年目	H 13	4%	2.4647	109.4	2.02	4.67				
-18年目	H 14	4%	2.3699	107.6	3.08	6.97				
-17年目	H 15	4%	2.2788	106.1	1.17	2.59				
-16年目	H 16	4%	2.1911	105.0	0.99	2.13				
-15年目	H 17	4%	2.1068	103.7	0.54	1.13				
-14年目	H 18	4%	2.0258	103.0	0.89	1.80				
-13年目	H 19	4%	1.9479	102.1	0.79	1.55				
-12年目	H 20	4%	1.8730	101.6	0.92	1.74				
-11年目	H 21	4%	1.8009	100.3	2.76	5.09				
-10年目	H 22	4%	1.7317	98.6	5.25	9.48				
-9年目	H 23	4%	1.6651	97.2	3.05	5.37				
-8年目	H 24	4%	1.6010	96.4	6.10	10.40				
-7年目	H 25	4%	1.5395	96.4	18.76	30.77				
-6年目	H 26	4%	1.4802	98.7	18.29	28.17				
-5年目	H 27	4%	1.4233	100.2	13.43	19.59				
-4年目	H 28	4%	1.3686	100.2	9.34	13.10				
-3年目	H 29	4%	1.3159	100.5	20.93	28.15				
-2年目	H 30	4%	1.2653	100.4	20.78	26.89				
-1年目	R 1	4%	1.2167	101.2	30.09	37.16				
供用開始年次	R 2	4%	1.1699	101.9			1.55	1.83		
1年目	R 3	4%	1.1249	101.8			1.55	1.76		
2年目	R 4	4%	1.0816	102.7			1.55	1.68		
3年目	R 5	4%	1.0400	102.7			1.55	1.62		
基準年	R 6	4%	1.0000	102.7			1.55	1.55		
5年目	R 7	4%	0.9615	102.7			1.55	1.49		
6年目	R 8	4%	0.9246	102.7			1.55	1.44		
7年目	R 9	4%	0.8890	102.7			1.55	1.38		
8年目	R 10	4%	0.8548	102.7			1.55	1.33		
9年目	R 11	4%	0.8219	102.7			1.55	1.28		
10年目	R 12	4%	0.7903	102.7			1.55	1.23		
11年目	R 13	4%	0.7599	102.7			1.55	1.18		
12年目	R 14	4%	0.7307	102.7			1.55	1.14		
13年目	R 15	4%	0.7026	102.7			1.55	1.09		
14年目	R 16	4%	0.6756	102.7			1.55	1.05		
15年目	R 17	4%	0.6496	102.7			1.55	1.01		
16年目	R 18	4%	0.6246	102.7			1.55	0.97		
17年目	R 19	4%	0.6006	102.7			1.55	0.93		
18年目	R 20	4%	0.5775	102.7			1.55	0.90		
19年目	R 21	4%	0.5553	102.7			1.55	0.86		
20年目	R 22	4%	0.5339	102.7			1.55	0.83		
21年目	R 23	4%	0.5134	102.7			1.55	0.80		
22年目	R 24	4%	0.4936	102.7			1.55	0.77		
23年目	R 25	4%	0.4746	102.7			1.55	0.74		
24年目	R 26	4%	0.4564	102.7			1.55	0.71		
25年目	R 27	4%	0.4388	102.7			1.55	0.68		
26年目	R 28	4%	0.4220	102.7			1.55	0.66		
27年目	R 29	4%	0.4057	102.7			1.55	0.63		
28年目	R 30	4%	0.3901	102.7			1.55	0.61		
29年目	R 31	4%	0.3751	102.7			1.55	0.58		
30年目	R 32	4%	0.3607	102.7			1.55	0.56		
31年目	R 33	4%	0.3468	102.7			1.55	0.54		
32年目	R 34	4%	0.3335	102.7			1.55	0.52		
33年目	R 35	4%	0.3207	102.7			1.55	0.50		
34年目	R 36	4%	0.3083	102.7			1.55	0.48		
35年目	R 37	4%	0.2965	102.7			1.55	0.46		
36年目	R 38	4%	0.2851	102.7			1.55	0.44		
37年目	R 39	4%	0.2741	102.7			1.55	0.43		
38年目	R 40	4%	0.2636	102.7			1.55	0.41		
39年目	R 41	4%	0.2534	102.7			1.55	0.39		
40年目	R 42	4%	0.2437	102.7			1.55	0.38		
41年目	R 43	4%	0.2343	102.7			1.55	0.36		
42年目	R 44	4%	0.2253	102.7			1.55	0.35		
43年目	R 45	4%	0.2166	102.7			1.55	0.34		
44年目	R 46	4%	0.2083	102.7			1.55	0.32		
45年目	R 47	4%	0.2003	102.7			1.55	0.31		
46年目	R 48	4%	0.1926	102.7			1.55	0.30		
47年目	R 49	4%	0.1852	102.7			1.55	0.29		
48年目	R 50	4%	0.1780	102.7			1.55	0.28		
49年目	R 51	4%	0.1712	102.7			1.55	0.27		
合計					171.78	322.13	77.73	40.66	0.00	0.00
単純事業費計					188.62		77.73			

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道1号 笹原山中バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (ブロック)				社会的 割引率	割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)		
		乗用車	普通貨物車	小型貨物車	合計				乗用車類	普通貨物	小型貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	普通貨物	小型貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値
供用開始年次	R 2	0.99916	1.00843	0.98496	0.99809	4%	1.1699	101.9	8.25	2.95	2.18	13.38	15.78	0.67	0.68	0.23	1.58	1.86	0.21	0.25	15.17	17.89
1年目	R 3	0.99916	1.00836	0.98473	0.99809	4%	1.1249	101.8	8.24	2.98	2.15	13.37	15.17	0.67	0.68	0.22	1.58	1.79	0.21	0.24	15.16	17.20
2年目	R 4	0.99915	1.00829	0.98449	0.99808	4%	1.0816	102.7	8.23	3.00	2.11	13.35	14.44	0.67	0.69	0.22	1.58	1.71	0.21	0.23	15.15	16.38
3年目	R 5	0.99915	1.00822	0.98425	0.99808	4%	1.0400	102.7	8.23	3.03	2.08	13.34	13.87	0.67	0.69	0.22	1.58	1.65	0.21	0.22	15.13	15.74
基準年	R 6	0.99915	1.00815	0.98399	0.99807	4%	1.0000	102.7	8.22	3.05	2.05	13.32	13.32	0.67	0.70	0.21	1.59	1.59	0.21	0.21	15.12	15.12
5年目	R 7	0.99915	1.00809	0.98373	0.99807	4%	0.9615	102.7	8.21	3.08	2.02	13.31	12.80	0.67	0.71	0.21	1.59	1.53	0.21	0.20	15.11	14.53
6年目	R 8	0.99915	1.00802	0.98346	0.99807	4%	0.9246	102.7	8.21	3.10	1.98	13.29	12.29	0.67	0.71	0.21	1.59	1.47	0.21	0.20	15.09	13.95
7年目	R 9	0.99915	1.00796	0.98319	0.99806	4%	0.8890	102.7	8.20	3.13	1.95	13.28	11.80	0.67	0.72	0.20	1.59	1.41	0.21	0.19	15.08	13.41
8年目	R 10	0.99915	1.00790	0.98290	0.99806	4%	0.8548	102.7	8.19	3.15	1.92	13.26	11.34	0.67	0.72	0.20	1.59	1.36	0.21	0.18	15.07	12.88
9年目	R 11	0.99915	1.00783	0.98260	0.99806	4%	0.8219	102.7	8.19	3.18	1.88	13.25	10.89	0.67	0.73	0.20	1.59	1.31	0.21	0.17	15.05	12.37
10年目	R 12	0.99896	1.00674	0.99113	0.99897	4%	0.7903	102.7	8.18	3.20	1.85	13.23	10.46	0.67	0.73	0.19	1.60	1.26	0.21	0.17	15.04	11.89
11年目	R 13	0.99896	1.00669	0.99105	0.99897	4%	0.7599	102.7	8.17	3.22	1.83	13.23	10.05	0.67	0.74	0.19	1.60	1.21	0.21	0.16	15.04	11.43
12年目	R 14	0.99896	1.00665	0.99097	0.99897	4%	0.7307	102.7	8.16	3.25	1.82	13.23	9.66	0.67	0.74	0.19	1.60	1.17	0.21	0.15	15.04	10.99
13年目	R 15	0.99896	1.00660	0.99089	0.99897	4%	0.7026	102.7	8.15	3.27	1.80	13.22	9.29	0.67	0.75	0.19	1.60	1.13	0.21	0.15	15.04	10.56
14年目	R 16	0.99896	1.00656	0.99080	0.99897	4%	0.6756	102.7	8.14	3.29	1.79	13.22	8.93	0.67	0.75	0.19	1.61	1.08	0.21	0.14	15.03	10.16
15年目	R 17	0.99895	1.00652	0.99072	0.99896	4%	0.6496	102.7	8.14	3.31	1.77	13.22	8.58	0.66	0.76	0.18	1.61	1.04	0.21	0.14	15.03	9.77
16年目	R 18	0.99895	1.00648	0.99063	0.99896	4%	0.6246	102.7	8.13	3.33	1.75	13.21	8.25	0.66	0.76	0.18	1.61	1.01	0.21	0.13	15.03	9.39
17年目	R 19	0.99895	1.00643	0.99054	0.99896	4%	0.6006	102.7	8.12	3.35	1.74	13.21	7.93	0.66	0.77	0.18	1.61	0.97	0.21	0.13	15.03	9.03
18年目	R 20	0.99895	1.00639	0.99045	0.99896	4%	0.5775	102.7	8.11	3.38	1.72	13.21	7.63	0.66	0.77	0.18	1.62	0.93	0.21	0.12	15.03	8.68
19年目	R 21	0.99895	1.00635	0.99036	0.99896	4%	0.5553	102.7	8.10	3.40	1.70	13.20	7.33	0.66	0.78	0.18	1.62	0.90	0.21	0.12	15.03	8.35
20年目	R 22	0.99253	0.99984	0.99257	0.99394	4%	0.5339	102.7	8.09	3.42	1.69	13.20	7.05	0.66	0.78	0.18	1.62	0.87	0.21	0.11	15.03	8.02
21年目	R 23	0.99248	0.99984	0.99251	0.99391	4%	0.5134	102.7	8.03	3.42	1.67	13.13	6.74	0.66	0.78	0.17	1.61	0.83	0.21	0.11	14.95	7.67
22年目	R 24	0.99242	0.99984	0.99246	0.99387	4%	0.4936	102.7	7.97	3.42	1.66	13.05	6.44	0.65	0.78	0.17	1.61	0.79	0.21	0.10	14.87	7.34
23年目	R 25	0.99236	0.99984	0.99240	0.99383	4%	0.4746	102.7	7.91	3.42	1.65	12.98	6.16	0.65	0.78	0.17	1.60	0.76	0.20	0.10	14.78	7.02
24年目	R 26	0.99230	0.99984	0.99234	0.99379	4%	0.4564	102.7	7.85	3.42	1.64	12.91	5.89	0.64	0.78	0.17	1.60	0.73	0.20	0.09	14.70	6.71
25年目	R 27	0.99224	0.99984	0.99228	0.99375	4%	0.4388	102.7	7.79	3.42	1.62	12.83	5.63	0.64	0.78	0.17	1.59	0.70	0.20	0.09	14.62	6.42
26年目	R 28	0.99218	0.99984	0.99222	0.99371	4%	0.4220	102.7	7.73	3.42	1.61	12.76	5.38	0.63	0.78	0.17	1.58	0.67	0.20	0.08	14.54	6.14
27年目	R 29	0.99212	0.99984	0.99216	0.99367	4%	0.4057	102.7	7.67	3.41	1.60	12.68	5.15	0.63	0.78	0.17	1.58	0.64	0.20	0.08	14.46	5.87
28年目	R 30	0.99206	0.99984	0.99210	0.99363	4%	0.3901	102.7	7.61	3.41	1.59	12.61	4.92	0.62	0.78	0.17	1.57	0.61	0.20	0.08	14.38	5.61
29年目	R 31	0.99199	0.99984	0.99203	0.99359	4%	0.3751	102.7	7.55	3.41	1.57	12.54	4.70	0.62	0.78	0.16	1.56	0.59	0.20	0.07	14.30	5.36
30年目	R 32	0.99193	0.99984	0.99197	0.99355	4%	0.3607	102.7	7.49	3.41	1.56	12.46	4.50	0.61	0.78	0.16	1.56	0.56	0.20	0.07	14.22	5.13
31年目	R 33	0.99186	0.99984	0.99191	0.99351	4%	0.3468	102.7	7.43	3.41	1.55	12.39	4.30	0.61	0.78	0.16	1.55	0.54	0.19	0.07	14.14	4.90
32年目	R 34	0.99180	0.99984	0.99184	0.99347	4%	0.3335	102.7	7.37	3.41	1.54	12.32	4.11	0.60	0.78	0.16	1.54	0.52	0.19	0.06	14.05	4.69
33年目	R 35	0.99173	0.99984	0.99177	0.99342	4%	0.3207	102.7	7.31	3.41	1.52	12.24	3.93	0.60	0.78	0.16	1.54	0.49	0.19	0.06	13.97	4.48
34年目	R 36	0.99166	0.99984	0.99170	0.99338	4%	0.3083	102.7	7.25	3.41	1.51	12.17	3.75	0.59	0.78	0.16	1.53	0.47	0.19	0.06	13.89	4.28
35年目	R 37	0.99159	0.99984	0.99163	0.99334	4%	0.2965	102.7	7.19	3.41	1.50	12.10	3.59	0.59	0.78	0.16	1.53	0.45	0.19	0.06	13.81	4.09
36年目	R 38	0.99152	0.99984	0.99156	0.99329	4%	0.2851	102.7	7.13	3.41	1.49	12.02	3.43	0.58	0.78	0.16	1.52	0.43	0.19	0.05	13.73	3.91
37年目	R 39	0.99145	0.99984	0.99149	0.99325	4%	0.2741	102.7	7.07	3.41	1.47	11.95	3.28	0.58	0.78	0.15	1.51	0.41	0.19	0.05	13.65	3.74
38年目	R 40	0.99137	0.99984	0.99142	0.99320	4%	0.2636	102.7	7.01	3.41	1.46	11.88	3.13	0.57	0.78	0.15	1.51	0.40	0.19	0.05	13.57	3.58
39年目	R 41	0.99130	0.99984	0.99135	0.99315	4%	0.2534	102.7	6.95	3.41	1.45	11.80	2.99	0.57	0.78	0.15	1.50	0.38	0.18	0.05	13.49	3.42
40年目	R 42	0.99122	0.99984	0.99126	0.99311	4%	0.2437	102.7	6.88	3.41	1.44	11.73	2.86	0.56	0.78	0.15	1.49	0.36	0.18	0.04	13.40	3.27
41年目	R 43	0.99114	0.99984	0.99119	0.99306	4%	0.2343	102.7	6.82	3.41	1.42	11.66	2.73	0.56	0.78	0.15	1.49	0.35	0.18	0.04	13.32	3.12
42年目	R 44	0.99106	0.99984	0.99111	0.99301	4%	0.2253	102.7	6.76	3.41	1.41	11.58	2.61	0.55	0.78	0.15	1.48	0.33	0.18	0.04	13.24	2.98
43年目	R 45	0.99098	0.99984	0.99103	0.99296	4%	0.2166	102.7	6.70	3.41	1.40	11.51	2.49	0.55	0.78	0.15	1.47	0.32	0.18	0.04	13.16	2.85
44年目	R 46	0.99090	0.99984	0.99095	0.99291	4%	0.2083	102.7	6.64	3.41	1.39	11.43	2.38	0.54	0.78	0.14	1.47	0.31	0.18	0.04	13.08	2.72
45年目	R 47	0.99082	0.99984	0.99087	0.99286	4%	0.2003	102.7	6.58	3.40	1.37	11.36	2.28	0.54	0.78	0.14	1.46	0.29	0.18	0.04	13.00	2.60
46年目	R 48	0.99073	0.99984	0.99078	0.99281	4%	0.1926	102.7	6.52	3.40	1.36	11.29	2.17	0.53	0.78	0.14	1.46	0.28	0.18	0		

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	笹原山中バイパス	2	4.3km

## ■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				15,350	
	改良費				9,663	
		土工	m <sup>3</sup>	920,026	5,955	切土工、盛土工、捨土工
		軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
		法面工	m <sup>2</sup>	84,724	457	客土吹付、植生基材吹付、種子散布等
		擁壁工	式	1	1,499	補強土壁、ブロック積み、L型擁壁、
		管渠工	m	567	172	
		函渠工	m	327	744	
		排水工	m	22,045	625	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1	211	
	橋梁費				2,951	
		100m以上	m	114	1,096	
		100m未満	m	136	1,855	
	トンネル費				1,513	
		NATM	m	157	1,513	
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,012	
		車道舗装	m <sup>2</sup>	62,773	918	
		歩道舗装	m <sup>2</sup>	11,562	94	
	付帯施設費				211	
		交通管理施設工	式	1	211	
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				1,963	
	用地費		m <sup>2</sup>	143,830	1,684	
		宅地	m <sup>2</sup>	2,009	62	
		田畑	m <sup>2</sup>	37,537	552	
		山林・原野	m <sup>2</sup>	95,545	947	
		その他	m <sup>2</sup>	8,739	123	
	補償費		式		279	
③	間接経費		式		2,787	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				20,100	

## 【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用する

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道1号	笹原山中バイパス	2	4.3km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	4.3	1,400	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,150	路面補修、構造物の点検・補修等
その他				
維持管理費合計	式		8,550	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費				
更新費合計				

【単価等について】

- 維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。
- 更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。